

G7 伊勢志摩サミット

2016年4月28日(木)

東京新聞

朝刊 5面

主要国のリーダーが集まるサミットとは、本来、山の頂上を意味する言葉。構えばかりが大きくなって麓の声が届かぬならば、存在意義は薄れよう。

5 社説・発言 \*11版 S 2016年(平成28年)4月28日(木曜日)

初的主要国首脳会議、ニッポン・サミットがパリの南西五十キロの森の中に残る古城で開かれたのは一九七五年。フランスのスカールスタウン大統領と当時は西ドイツのシュミット首相が主導し、第一次石油危機などで行き詰まった先進国の経済政策を調整する事が目的だった。

社 説

2016・4・28

サミットに、開催に関する協定や憲章があるわけではない。無用の批判も浴びてきたが、首脳・サミットでは、G7首脳とゴルバチョフ・ソ連大統領との会談が実現。ソ連の国際通貨基金(IMF)と世界銀行への特別加盟に道が拓けた。ソ連崩壊に伴う世界的規模の混乱を回避すべく機能し、この話にならないのは、それだけの理由があるはずである。

麓の声は聞こえるか

サミットを動かそうという成果を残してきた。昨年のドバイ・エミラツでのサミットでも議長のホテルルメイヤンに集まる傾向があり、政治不信や過激なデモが横行していた。その流れが同年末、国連気候変動枠組み条約第二十二回締約国会議(COP22)でのパリ協定採択につながっている。

サミットに向けて

から集まった市民が「人間の鎖」となつて会場を取り巻き、結果として、先進国が総額七百億の債権を事実上放棄するといつ啖ひ込んだ救済策を引き出した。非政府組織(NGO)の積極的な提言を背景として、地球環境の悪化や市民が国境を超えて連帯する動きも、近年のサミットで大きな特徴として見られる。G7として足並みをそろえる。G7として足並みをそろえる。G7として足並みをそろえる。G7として足並みをそろえる。

サミットは、次を懸念に考え、市民の声が響いているのである。サミット開催の意義は薄れていくだろう。

G7 富山環境大臣会合

2016年5月15日(日)

毎日新聞 富山版

朝刊 22面

新 聞

2016年(平成28年)5月15日(日)

富 山

22

**ごみは下に掘載**

のち  
一時々  
5.0以上  
5.0未満

数字 (上)最高気温  
(下)最低気温  
丸印みは50%以上  
白印みは50%未満  
矢印なしは無風

**肉の安全・安心は  
北陸ミートから!**

HACCPシステム対応 **北陸ミート株式会社**

本社・工場 / 富山市金屋 2718 番 13  
☎0761443-7272(代)

# 富 山



通訳の説明を受けながら、瑞龍寺を見学する各国の大使や外交関係者ら＝高岡市関本町で

## まよう富山で開幕

### 大使ら来県 歓迎イベント高まる

主要7カ国と欧州連合(EU)の環境相会合は15日、富山市で開幕する。前日の14日は、高岡市内や立山県部ルベールトを巡るエクスカリーション(観光旅行)や、市民団体主催の環境イベントが開かれ、イベントを高めた。富山市内のホテルでは地元主催の歓迎レセプションもあり各国の参加者が交流した。【大東祐紀・金慈恵】



## 高岡・立山を視察

景観が主催するエ 英、米、仏、日の外クスカリーションには、 交関係者や大使ら約20本町)や金屋町を訪問。瑞龍寺では、四連谷道庵住職から寺の由緒について説明を受けた。約20人を前に、運動を始めた。写真撮影を楽しんだりした。

**草刈り運動や環境問題語る**  
足立原氏講演



環境問題について語る足立原さん(右)＝富山市安住町のサシメアとやまで

運動を始めた足立原貴人はまず、草刈り十字車運動を始めた。富山市が車運動を始めた背景などを説明した。現在環境問題について「科学で対応しようとしている限りは環境問題は解けない」と言及し、市民一人一人が環境問題意識を反対し、1974年に富山市安住町のサシメアとやまで「環境問題、運動は昨年42回目、環境問題、運動を始めた。17人とやま2011講演では、タイタイ病を語り継ぐ会の向井嘉之代表が聞き手を務め、足立原

運動を始めた足立原貴人はまず、草刈り十字車運動を始めた。富山市が車運動を始めた背景などを説明した。現在環境問題について「科学で対応しようとしている限りは環境問題は解けない」と言及し、市民一人一人が環境問題意識を反対し、1974年に富山市安住町のサシメアとやまで「環境問題、運動は昨年42回目、環境問題、運動を始めた。

持つことの大切さを強調した。さらに、「無限の成長なんてありえない」と指摘。「環境を持続するためには循環していくしかない」と述べた。

G7 伊勢志摩サミット

2016年5月23日(月)

朝日新聞 三重版

朝刊 29面

29

社 会

13版

2016年(平成28年)5月23日

月曜日

# 首脳的車通ったら…警備訓練

伊勢志摩サミットの拡大会場に出席する首脳らが宿泊予定の名古屋市で22日、愛知県警が同首脳らの車列の警備を想定した訓練を実施した。道路を通行止めにし、移動ルート上の信号機のサイクルを調節するなどして、一般車面の交通への影響なども調べた。



「サミット警備に乗じたオスプレイ利用反対」で街頭で訴える人たち。22日午後、名古屋市中区栄、戸村登撮影

## オスプレイ反対集会も



性もあるという。警察関係者によると、22日は朝から市内の数カ所を起点にして、車列警備や移動ルート

の確認などをした。名古屋市内では同日、伊勢志摩サミットにあわせて米軍の新型輸送機オスプレイが愛知県内の空港に飛来したことや、元米海兵隊員が容疑者として逮捕された市内には、インドネシアやベトナム、チャドなど抜く大会参加やカ国の首脳らが滞在するところから、去套さんが「オバマ大統領の賢島(三重県志摩市)までは車面で移動する可能

伊勢志摩サミットの開催を前に、市民団体や大学生らによる「サミット」の開催が相次いでいる。22日には三重(津市)で「G7ユースサミット」があった。22日のユースサミットでは、三重大に30歳以下の若

## ユース宣言を発表 市民サミットはきょう開幕

した名古屋大3年の大田圭哉さん(21)は「シリアから逃れても生活が困難に感じるものに問題の根深さを感じる。その成果を『経済』社にまでどめ、発表した。シリア問題の議論に参加した。いずれもサミットでの

市民の伊勢志摩サミットに参加する。約30人が参加した。15のテーマごとに政策提言をまとめる。主催する市民社会プラットフォームは「市民の総意をG7首脳に届けたい」と話した。

「市民の伊勢志摩サミット」は「シリアから逃れても生活が困難に感じるもので、最大規模にするもの」が、23、24両日開催の。約30人が参加した。15のテーマごとに政策提言をまとめる。主催する市民社会プラットフォームは「市民の総意をG7首脳に届けたい」と話した。

G7 伊勢志摩サミット

2016年5月24日(火)

毎日新聞 名古屋版

朝刊 25面

# 市民サミットが開幕

伊勢志摩サミットに気候変動など「サミットの主要テーマを議論、問題解決への道筋先駆け、国内外の市民団体が地球規模の課題について議論する市伊勢志摩サミットNPOなど国内約60(市民サミット)」が23日、三重県四日市市会プラザ「アム」のじゃらん三重で始まった。異なる現場を経験している団体が連携民サミットネットワーク「シリア難民問題や食料安全保障の分科会で、貧困層の生活改善にG7が果たすべき役割について議論する参加者ら23日、三重県四日市市で23日、町田結子撮影



このうち「シリア難民が果たすべき役割について議論する参加者ら23日、三重県四日市市で23日、町田結子撮影

ない中立的な立場が資金を増額すべきだと話した。24日は各分科会が提言書を発表、「市民言食料安全保障の分科会では「貧困国における栄養不良の改善に、を議論。「現在敵対しているシリア人同士の信頼構築に向け、国民間の対話を主導する」などとする提言をまとめた。同国への支援を続け「サタカ」(横浜)は取材に「G7は国内外から約400人が参加。15分科会には「紛争に関わっている国の栄養改善に向けた

ない中立的な立場が資金を増額すべきだと話した。24日は各分科会が提言書を発表、「市民言食料安全保障の分科会では「貧困国における栄養不良の改善に、を議論。「現在敵対しているシリア人同士の信頼構築に向け、国民間の対話を主導する」などとする提言をまとめた。同国への支援を続け「サタカ」(横浜)は取材に「G7は国内外から約400人が参加。15分科会には「紛争に関わっている国の栄養改善に向けた

G7 伊勢志摩サミット

2016年5月25日(水)

毎日新聞 名古屋版

夕刊 1面

1 4版 2016年(平成28年)5月25日(水)

# 継 伊勢志摩と世界 サミットへの思い書で表現



徳山 秀浩さん

漢字一文字でサミットへ  
の期待を表現しよう……。  
伊勢志摩サミットが開かれ  
る三重県内で、書道家によ  
る巨文字の「サミット」が  
スが練り広げられている。  
市民の思いをタイレクに  
表現しようとするNGOが企  
画。25日からは国内外の報  
道陣の取材拠点となる伊勢  
市の「国際メディアセンタ  
ー（IMC）」でも披露  
世界にアピールする。  
企画は、市民サミットの  
運営に携わった国際協力N  
Gオネットウク「動く」  
の市長サミット会場（四日  
市市）では「継」。議論を  
聞き、「市民一人一人が世  
界の一端を担っている」と  
の思いを込めた。

【町田 結子、写真も】



若者団体が主催した「ユースサミット」は、「継」の字で表現した。津市の三重大学で22日

G7伊勢志摩サミット

2016年5月25日(水)

毎日新聞 三重版

朝刊 27面

毎 日 新 聞 間

【新聞定価1ヵ月4,037円(本体価格3,738円+消費税299円)】1部売り(消費税込み)朝刊140円 夕刊50円 (第3種郵便物認可)

市民サミット開幕 各テーマの政策提言集約

26日に開幕する主要国首脳会議(伊勢志摩サミット)に先駆け、国内外の市民団体が三重県四日市で開催していた「市民サミット」は24日、「地域の課題と地球規模の課題とつなかりを意識しながら市民活動に取り組み」とする宣言文を採択し、開幕した。各テーマの政策提言も集約し、次の議長国、イタリアの市民へバトをつないだ。(6面に関連記事)



市民サミット終了後に記念撮影する関係者ら。三重工県四日市市で24日午後3時42分、梶見泰寿撮影

「地球規模の課題意識」

伊勢志摩サミット2016

に確実に提言をしていく。主催した市民サミットに参加した国際NGOアラブの西井和裕・共同代表(名古屋NGOヤシヨエイド)イタリア支部のルカ・デ・ソラー理事長は閉会式でこう強調した。



次回開催地のイタリアの国際NGO関係者(右)と擔任する市民社会ネットワークの石井遼江共同代表(左)は24日午後3時42分、梶見泰寿撮影

P0関係者ら延べ約800人が集い、2日間の変化を起こしている。各団体は、異なる現場経験を生かしながら活発に意見を交わし、政策提言をまとめた。提言文は近々、外務省に提出する予定だ。

市民団体によるこうした働きかけは近年、国内で活発になってきた。2006年から、NPOや市民側民団体の連携は、今年3月、参加各国の首脳補佐役を兼ねて、主催団体

が政府内に発足した「持続可能な開発目標(SDGs)推進本部」だ。これは昨年9月の国連総会でSDGsが採択されて以降、国内で2006年から、

ほぼ毎年、各国政府と対話の場が設けられ、今年3月、参加

地域が直面している課題と地球上を覆う深刻な課題とつなかりを意識しながらそれぞれの市民活動に取り組む、課題の改善や解決をもちがうこと。

2 市民サミットの経験・知見を生かして、自治体・国・国際機関に対して市民からの政策提言活動を継続、市民協働による効果的な政策作りを進めること。

3 新たな制度やネットワークづくりを行うこと。

市民サミットの宣言文

1 地域が直面している課題と地球上を覆う深刻な課題とつなかりを意識しながらそれぞれの市民活動に取り組む、課題の改善や解決をもちがうこと。

G7伊勢志摩サミット

2016年5月27日(金)

中日新聞 三重版

朝刊 18面

中

日

新

聞

2016年(平成28年)5月27日(金曜日)

103 三広域 ■ 重 18

# 7首脳がヒーローに 子ども保健・医療

## ホームレス支援 寝心地の悪いベッド



G7首脳をヒーローに見立てたパネル＝いざ、れも伊勢市のNGOローキングススペースで

真顔を模した「スーパーヒーロー」に「世界で最も寝心地の悪いベッド」。伊勢市の国際メディアセンター(IMC)に隣接する伊勢ツットホールガイアレジに開設された「NGOローキングス」では、非政府組織(NGO)などがユニークな展示で情報発信している。

### 伊勢

おがサミットでリーダがサミットでリーダシップを発揮すれば、多くの人々にとっての「スーパーヒーロー」になれるとの期待を込めた。

アンダージュ相やオバドモ支援のNGO「セブ」を代表する「ユニバーサル・サ・チャルド・ルン・カバレッジ」の掘江由美子さんは「HIC」

# NGOユニーク展示



ガンガラーの谷(沖繩) 中部一水会 山崎保 (四日市市市小杉町)

- 三重総局(〒514-0005) 津市鳥居町2-27-2 FAX 059(228)2121~4 FAX 059(225)6213
- 四日市支局 059(352)3108 FAX 059(353)7239
- 伊勢支局 0596(23)3511 FAX 0596(23)3521
- 松阪支局 0598(26)2207 FAX 0598(21)3241
- 伊賀支局 0595(24)4310 FAX 0597(22)0192
- 尾鷲支局 0597(23)0771 FAX 0597(23)0771
- 鈴鹿通信信局 059(382)0314 FAX 059(382)3999
- 桑名通信信局 0594(22)0235 FAX 0594(23)6771
- 鳥羽通信信局 0599(25)2063 FAX 0599(25)2090
- 飛騨通信信局 0597(85)2263 FAX 0597(89)4801
- 亀山通信信局 0595(82)0169 FAX 0595(82)0970
- 名張通信信局 0595(63)0541 FAX 0595(64)0146
- 菟野通信信局 059(393)4158 FAX 059(394)5064
- 志摩通信信局 0599(43)0154 FAX 0599(44)0028
- 紀伊長島通信信局 0597(47)0724 FAX 0597(47)1487
- 新宮支局 0735(21)3737 FAX 0735(21)3738
- ニューエスは上の電話へ 読者センター 052(221)0800
- 広告局のお申し込みは 広告局三重アドセンター 059(221)2530 津

平安会館 0120-999-4444  
 5/29(日)10:00~14:00  
 阿倉川・名張斎奉見学会

困問題に取り組んでいるNPO法人「自立生活サポートセンター」もやい」が制作。ホームレスが寝ている都会の汚れた路を歩いた。おやいの大西理事長は「首脳たちには、世界で最も寝心地の悪いベッド」は、貧乏で、注目を集めたかつての悪いベッド」は、貧乏なに関心が低いのはサミットでの重要議題だと説明する。



ホームレスの寝る路上を再現した「世界で最も寝心地の悪いベッド」

G7伊勢志摩サミット

2016年5月27日 (金)

読売新聞 三重版

朝刊 13面

G7教育相会合「倉敷宣言」

「共通課題に国際協力」強調

後、拳手方式で議論した。いじめ問題や教員養成の困難さなど、各国共通の悩みが共有されたという。

値観である生命の尊重、自由、民主主義、寛容、法の支配、事前折衝で、昨年11月にパリ同時テロが発生した仏側が、シチンツァ教育での国際

協調を前面に押し出すことをめぐって、基本的な価値観によって、

岡山倉敷市で14、15日に開かれた先進7か国(G7)教育相会合では、貧困、若者の失業、過激主義の台頭などを教育力で解決することを目指す「倉敷宣言」が採択された。欧州でのテロや難民流入といった危機を背景に、教育は国際問題であるとの認識で一致し、共通の課題を協力して解決する必要性が強調された。(編集委員 小松夏樹)

会合は非公開だったが、文部科学省の担当者によると、テリ別に関係者が演説した

■テロへの危機感

「教育によって、基本的な価値観である生命の尊重、自由、民主主義、寛容、法の支配、事前折衝で、昨年11月にパリ同時テロが発生した仏側が、シチンツァ教育での国際協調を前面に押し出すことをめぐって、基本的な価値観によって、

「教育によって、基本的な価値観である生命の尊重、自由、民主主義、寛容、法の支配、事前折衝で、昨年11月にパリ同時テロが発生した仏側が、シチンツァ教育での国際協調を前面に押し出すことをめぐって、基本的な価値観



倉敷宣言を採択し手を取り合う彫刻相(右から4人目)ら(15日、岡山倉敷市で) 山井孝孝撮影

貧困、過激思想……教育で解決

「すべての子に公平な教育を」ノーベル賞・サテリアルテイ氏



平ノベルサテリアルテイ氏が、若者がかかっているのが質の低い公平な教育を提供する。私たちの約束だ」と訴えた。

弾みをつけることにもなりそ

関係者によると、会合前の事前折衝で、昨年11月にパリ同時テロが発生した仏側が、シチンツァ教育での国際協調を前面に押し出すことをめぐって、基本的な価値観

弾みをつけることにもなりそ

関係者によると、会合前の事前折衝で、昨年11月にパリ同時テロが発生した仏側が、シチンツァ教育での国際協調を前面に押し出すことをめぐって、基本的な価値観

教員の質の向上策にも関心

■教員力の向上

だ。

(第3種郵便物認可)



G7伊勢志摩サミット

2016年5月28日(土)

読売新聞 三重版

朝刊 28面

12版 三重2

地域 ◆ 28

# 経験 今後へ

伊勢志摩サミットは、関わった人々の目にどう映り、何を残したのか。それぞれ語ってもらった。



のは、月半ばに始まった市民の清掃活動と花いっぱい運動。それまで薄かったサミットへの関心が一気に高まった。本番では交通規制への苦情もほとんどなく、市民には感謝している。志摩市サミット推進室長の下村卓也さん(55)「無事摩の名が世界に知れ渡ったに終わってほっとしているのが大きな収穫だが、どう生かすかが今後の課題」



イベント盛況 手応え鹿野の体験や忍者ショーなどのイベントも大盛況で、三重情報館を担当した員職手応えを感じた。この成果をサミット後につなげ、元型スクリプトで流れた伊勢気な三重にしていきたい」



『御潜神事』を再現し、自然と共生することで30年以上続いていた海女文化を海外の記者らにきちんと伝えることができて良かった。鳥羽の外国人客はこれまでアジアが中心だったが、今後は欧米圏にも大いに期待できると納するアプロビをとる儀式 思う」



ハズ米大統領ら首脳の様を人垣越しに見ることができた。宇治橋近くに生まれたこの幸せを感じ、熱く感じた。伊勢志摩は『首脳が訪れた地』というブランドイメージになったことで、今後観光客増が期待できる。従業員にとっても普段「わずか30分だったが、貴重な経験ができた」



サミットでは、伊勢湾に流れ込む川の流域全体を一つの圏域とみなし、行政の枠を超えて環境保全に取り組む大切さを強調した。こうした考えが、地球規模の環境問題を解決する上でヒントになればと期待している。世界の指導者には今後も環境森一知さん(48)「市民サミット問題に力を注いでほしい」



桑 千

昇 昇

(第3種郵便物認可)

## 経 済



三重大人文学部の深井英喜教授(経済学)

世界経済の下方リスクへの言及はあるが、具体的な危機の原因を特定せず、当たり障りのない宣言。宣言で「世界経済の回復は継続している」と触れたように、参加国の状況はさほど悪くなく、日本が一人負けの状態。アベノミクスは失速しており、危機をおおる安倍晋三首相と、各国首脳との温度差を感じた。公共投資などの財政出動は、需要喚起の一時的な措置。非正規雇用で拡大する格差を是正し、中間層を育てるなど根本的な経済政策の確立が急務だ。

## 女 性



日本女性監視機構(JAWW)代表の織田由紀子さん

もともと期待が低かったが、政策面で「女性」という言葉に48回も触れており、その点では評価できる。これまでのサミットで積み上げてきた女性の活躍に関する議論に新しいイニシアチブ(主導権)をつけた格好だ。ただ、具体的にどう実施していくかについては、あまり記述がななく物足りない。各政策を実行に移すための資金についての言及もなかった。ぜひ、今後のサミットでは、首脳の間でも男女比のバランスがとれるように期待している。

## サミット首脳宣言

首脳宣言を採択して二週間の幕を閉じた主要国首脳会議(伊勢志摩サミット)。世界を取り巻く課題について主要国の首脳がメッセージを発信する一年に一度の機会だけに、宣言内容には厳しい目が注がれる。経済、女性、環境など主要課題の専門家の評価を聞いてみる。▶▶面参照

## 具体策や資金不明



伊勢志摩サミット初日、集合写真の撮影時にホテル屋上から英威湾の眺望を楽しむG7首脳ら。中央は安倍首相=28日、三重県志摩市で

## 評価厳しめ

## 市民協働



みえNPOネットワークセンター代表理事の松井真理子四日市大教授

市民社会との協働(パートナーシップ)について言及されていたのが人権の項目のなかだけで、ちよつと残念だった。直前に実施した市民サミットでは、市民協働が重要だとG7に提言したので、仕組み作りをどうするかに注目していたが、市民の声はあまり反映されていない。限られた時間の議論なので、すべて課題を指摘するだけではなく、それを市民とどう取り組むかという実行性についても触れてほしいかった。

## 市民の声反映せず

## 環 境



NPO法人気候ネットワーク理事の平田仁子さん

会議全体の中で、気候変動問題の位置付けが極めて低かった。人類にとつて最大の脅威であるこの問題に対するG7の対応としては全く不十分だ。地球温暖化対策の新枠組み「パリ協定」を年内に発効させる目標を明示したことは評価できる。一方で、二酸化炭素排出が多い石炭火力発電の規制に一切、言及していないのは残念。再生可能エネルギーへの転換に消極的な議長国・日本の姿勢が、環境やエネルギー問題の扱いを小さくとどめてしまう結果になった。

## 石炭火力言及なし

## 課税逃れ



NGOセーブ・ザ・チルドレン・ジャパンの大野容子さん

タックスヘイブション(租税回避地)を利用した課税逃れ問題に対し、前進を見ないまま閉幕した。G7は課税逃れをしていく多国籍企業や富裕層に甘く、不利益をこうむる市民や途上国の貧しい人々の側に立ったとは言えない。課税逃れで途上国が失っている税収入は年間19兆円と言われている。この一部でも財源になれば、母子保健や教育の充実に大きく寄与する。「議題になっただけ」ことの1点のみが評価でき、何ら新たな合意や取り組みは盛り込まれていない。

## 途上国の側立たず



G7 伊勢志摩サミット

2016年5月30日(月)

毎日新聞 名古屋版

朝刊 24面

2016年(平成28年)5月30日(月) 14版

社会 24

「大切なのは私たち日中市で2日間にわたる組織として動き、世界のリporterたちに声を届けていこうだ」。会式(24日)でアラブ首長国連帯のシェイク・ムハメド殿下は、国内のNGO(非政府組織)などが三重県四日市に集った。参加したのは約250人。

「市民サミット」の開催は、国内のNGO(非政府組織)などが三重県四日市に集った。参加したのは約250人。

【町田結子、写真志摩】

27日開幕した主要国首脳会議(伊勢志摩サミット)では、国内外の市民団体が連帯し、社会的弱者の声を首脳に届けよう活動した。次回開催国イタリアの市民団体を代表して来日したルカ・ツラシスさん(49)は、「継続して共に声を上げていく」と1年後の結集を呼びかけ、帰国した。

【町田結子、写真志摩】

国際開発援助団体「フアン・シモン」の代表者として来日したルカ・ツラシスさん(49)は、「継続して共に声を上げていく」と1年後の結集を呼びかけ、帰国した。

【町田結子、写真志摩】

加者が気候変動や難民、格差などの問題解決に向けて、国際的なネットワークを構築し、政策提言を始めた。伊勢市は国際的なネットワークを構築し、政策提言を始めた。伊勢市は国際的なネットワークを構築し、政策提言を始めた。

【町田結子、写真志摩】



市民が連帯する重要性について語る  
ツラシスさん

市民サミットで伊団体代表

「発言の継続を」  
結集呼びかけ

【町田結子、写真志摩】

加者が気候変動や難民、格差などの問題解決に向けて、国際的なネットワークを構築し、政策提言を始めた。伊勢市は国際的なネットワークを構築し、政策提言を始めた。

益々な立場から「バラ」の仲間と呼びかけた。来々、市民がまた結集するべく提言できる。と、日本をはじめ世界を母国で待つ。

出金で2012年に設立された世界基金「エフ・結核・マリア」で、各国の市民が働いた。ツラシスさん曰く「移民と確信した。強いネットワーキングの重要な要素は、移民が生まれる構造的問題に対処すること。市民社会だけが」